

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第19号(20101210)

発行 竹田幸男



12月例会・総会・忘年会を開催

12月10日(金)いつもの市民活動センター会場で30分速く例会の開始。続いて22年度の総会を行い、終了後、寝屋川市駅前の「がんこ寿司」へ移動、ここで和気あいあいと忘年会を行いました。終了後有志でカラオケへ、今年の憂さを忘れ精一杯のどを競いました。

例会の窓

平成22年12月例会

・日時：平成22年12月10日(金)

13:00～15:30

・場所：寝屋川市民活動センター 4階 こども室

- ・出席：天野 新井 石田 小笠原 梶本 竹下 竹嶋 竹田 谷（9名）
- ・欠席：田口 田淵（2名） / （50音順・敬称略）

例会次第

1．各会員の最近の活動状況・情報交換

田淵さんが石段を踏み外して右足首の骨にヒビ割れの怪我をされて自宅療養中のため、当例会・忘年会を欠席されました。

一日も早い回復を祈っています。

お互い、思わぬ所で怪我をすることがあるので、特にこの年末は安全に注意して過ごしましょう。

2．報告・連絡・協議事項

平野郷撮影会の件

- ・原案（上辻さん作成）について小笠原さんから詳細を説明。
- ・実施日は、平成23年3月9日（水）に決定。
朝9：00にJR大和路線 平野駅前に集合。
ただし雨天延期で、2日前（7日）に天気予報を見て最終決定します。
延期時は3月15日（火）を第一候補。間が空きすぎるので10日か11日に設定してはどうかとの意見があり、今後検討。
- ・午前中の撮影行動は班別に行う。1班＝6名で2～3班になる見込み。
- ・平野がんこ寿司で昼食を取り、午後は自由行動・解散とします。
なお、昼食メニューは小笠原さんが入手して1月例会で決めます。

NVC Monthly の記事筆者

- ・次号（12月）は天野さんの続きを掲載します。
- ・次々号（1月）は新井さんが担当。（飛び入り投稿も歓迎します）

次回の三団体交流の予定

- ・2月19日（第三土曜日）に開催します。
映像北大阪・寝屋川映像協会・松愛会映像同好会（私達）が参加。
場所は守口市国道一号線沿いの市民会館
当同好会から2作品を映写する予定で1月の例会で検討。

3．作品映写・合評

「寝屋川支部 鳥取旅行記」：新井さん作品

（注）今回は、当日録画のテープを試写のみ。

4．会員の当面する問題点質疑応答

VHS DVDにダビングするソフト（@2,000）を購入した。
ビデオ編集までは未だ至っていない。（梶本さん）

パソコンのUSB端子を電源として利用する機器が増えてきている。

この前、孫がおもちゃをUSB端子で充電して遊んだ。

オリンパスのカメラ（1万円以下）を買ったら内蔵電池はUSBで充電するようになっていた。（石田さん）

地デジテレビ放送を録画したDVDを観光バスに持ち込んだが、バスに設置の機器では映写が出来なかった。（石田さん）

寝屋川市民映像作品発表会のDVDを戴いたので、自宅のテレビに写したら余りキレイでなかった。念のため竹田さん宅で視聴確認して頂くことにした。（小笠原さん）

最近のICレコーダー（SDカード式）が便利で使い勝手がよい。アフレコ・ナレーションにマイクもいいし、音も良い。Webファイルで録音可。
その他、ビデオ作品の著作権について談義

5．映像同好会総会

平成22年度活動報告（竹田会長から説明）

- ・9項目の内容と収支報告承認

平成23年度活動方針（竹田会長から説明）

- ・9項目の内容承認

③平成22年度映像同好会収支報告

- ・内容承認

来年度以降の課題として例会時の作品映写用モニターテレビの更新が上げられた。寝屋川市総合センターの視聴覚室で使っているプロジェクタを映像協会から借用する案が提案され、一度実施してみるようになった。（8月頃）

6．その他、寝屋川映像協会との今後の関係について

- ・情報・意見交換

7．次回例会

- ・平成23年1月14日（金）13：30～
於：市民活動センター 4階 こども室
- ・ビデオカメラ担当：石田さん

8．忘年会

- ・例会終了後、寝屋川駅前の「がんこ寿司」に移動して開催（参加9名）
お互いの近況や情報交換、そして懇親を深めました。
また来年もよろしくお願いします。



はじめてのパソコンとの出会いから、今日まで

(先月に続く)

天野 忠一

2002年2月 ビデオ編集パソコンをBTO、そして光ケーブルでインターネット



BTOパソコン

VAIOでビデオ編集をずいぶん学びました。少し編集が出来るようになった時、少し自慢したかったことが裏目に出てこんなことがありました。『趣味としてビデオ編集をしている』ということ職場で話したことがあります。しばらく月日が流れた頃、それならば、ということで商品発売前に、その商品を紹介できる簡単なプロモーションビデオを作ろうということになってしまったのです。そこで私にその担当がまわってきて、私が撮影、編集、仕上げるというものです。これには初めて体験する作業も多く、大変苦労しました。完動品でないセットを、あたかも動作しているようにみせかけるのです。作業は全て個別に収録し(セット操作、セットから出す音、音楽、説明ナレーション、BGM他)同期させることが、いかに難しいものかを勉強させてもらいました。夏季休暇前に全て完了し休暇後に完成品のビデオを渡して、商談に使っていただく予定でしたが、編集中にVAIOが突然動作を停止してしまいました。

その時は『もし完成品が間にあわなかったらどうしよう』と一瞬、目の前が真っ暗になったことを今でも鮮明に覚えています。編集パソコンの予備は無い、サポートはすでに終了済み、仕方なくよく見かける有料のパソコンサポートサービス(電話1本でご自宅までお伺い)を受け何とかその場を凌ぐことができましたが、おかげで夏季休暇全てをこの編集に費やした苦い経験があります。もし予備の編集パソコンがあれば、状況もかわっていたものということで、新たに1台持つことにしました。メーカー製ではなくオーダーで作ってもらったのがこのパソコンです。

編集ソフトのプレミアは何度もバージョンアップをしていますし、一方他のソフトも使ってみたいという思いから、当時リアルタイム編集が手軽にできると訴求していた、カノープスのDVStorm-RTというソフトを使うことにしました。このソフトはプレミアとの高度な互換性もあり、理想的だと思ったからです。



EIZO S1910

一方パソコン本体は、自分の希望するパーツを集めてのパソコンでしたので、バランスが悪いところもあり(使ってみてわかった)、注文時に一言販売店からアドバイスがあればよかったのにと反省しているところです。また、このパソコンはビデオ専用機とも

考えていたのですが、インターネット・メール接続もするようにしました。光ファイバー接続の100メガタイプで、今までの電話回線とは圧倒的な差でインターネットを楽しむことができるようになりました。モニターはVAIO用を兼用していましたが、05年から表示映像が美しいと言われるEIZOの19型を使用しています。以降、編集はこのパソコンがメインとなりVAIOは予備に後退しました。

BTO Build To Order

Win2000 / Pentium 4 1.6GHz / メモリー 512MB / HDD 140G + 640GB
(外付け)/DVDマルチ/編集ソフト DVStorm-RT/ Premiere 6.5 / AfterEffects 4.0

2003年6月 業務でフル活用させるために、ノートPCグレードアップ



ダイナブック
E6 515CME

レッツノートは会社と自宅を往復しながら、ずいぶん業務の効率アップに貢献してくれました。まだまだこの機種も通用したわけですが、ダイナブックからレッツノートに買い替えた時以上に周囲のパソコンの環境は変化していました。OSが、この98SEからすでに2000 XPとかわり、HDDもさらに大容量化、また液晶サイズも大きくなり、USB端子も増加、DVDにも対応と著しく性能向上がみられました。これらを満足させれば、今以上のパソコンライフ

が楽しめるのではと思います、またまた中級機ですが、ダイナブック E6を購入することにしました。動作も前機種に比べ速く感じましたし、何といたってもディスプレイの15吋には感激したものでした。一方、質量は7年前のパソコンの3.4kgに逆もどりし、またまた重いパソコンの持ち運びになりましたが、現役最後まで私の業務を助けてくれることになった重いけれども愛着のあるパソコンです。現在も家庭でサブPCとして活躍しているところです。

WinXP / セレロン 1.5GHz / メモリー 512MB / HDD 40G / DVD-ROM
/ 15吋 / officeXP搭載 / 質量 3.4kg



Gateway GT5042j

2006年9月 ビデオ編集専用機として

VAIO / BTO パソコンに続き、ビデオ編集に特化したパソコンはこれが3代目(3台目)になります。BTOパソコンは今も働いていますし、DVに限ればこれからも働いてくれる

でしょう。しかし、VAIOはもう時代遅れの感は否めません。

BTOパソコンを持ってからという4年の期間は、一昔前の時代になります。少しは自慢していたスペックでしたが、次第に過去のパソコンということになりつつありました。



EIZO S1910

一方ビデオカメラを取り巻く環境は、ハイビジョン時代に入っ

ており、そろそろパソコンもハイビジョン編集（HDV）ができるレベルのものが欲しいと考えている時でもありました。何とかこれならハイビジョン編集が可能ではと思ったのがGateway GT5042jであります。またソフトは、今仕様しているDVStorm-RT また、Premiere 6.5はハイビジョンには対応していませんので、ソフトを新規にしなければなりませんでした。色々と販売されているなかで、最終的にカノープスのEDIUS Neo というソフトに決めることにしました。

このシステムは、現在BTOパソコンに代わって編集のメインになっています。しかし、当初想定していましたがハイビジョンカメラの記録方式がHDVからAVCHDに流れが大きく変わり、HDVカメラが皆無といえる世界では、このパソコンの寿命も、今手持ちの2台のDVカメラの運命にかかっていると考えると少し寂しくなってきました。ディスプレイは、EIZOを共用し、BTOパソコンの出力をアナログ接続、当機をデジタル接続で使用しています。この機種の購入をもって、VAIOは引退させました。

Win XP / Pentium D 3GHz / メモリー 2.5GMB / HDD 400G+1T (外付け) / DVD Multi+DVDROM / 19吋 / 編集ソフト EDIUS Neo / Premiere 6.5 / AfterEffects4.0

2009年6月 これを最後のパソコンに！



DELL
スタジオ 1555

あと4ヶ月待てばWin 7が発売されるころに購入しました。購入したパソコンはVista仕様ですが、ダウングレード権を利用しXPに変更して使用しています。サポート終了も2014年と理解した上での購入でした。しかし本当にWin 7でなくXP Proでよかったのか？と、今も自問自答しているところです。

XPを選んだ理由は、長期間XPを使っている 数多くの手持ちソフトがXP対応である まずまず安定した動作と認識。これらを理由としてあげることができます。このパソコンはDELL製です。準備された基本パーツを自分で選び、自分の好むスペックに作り上げるカスタマイズ商品です。（これもBTOかな）

一般のPCによくみる数多くのソフトのバンドルはなく、まったくシンプルなパソコンで、まずまずのものが出来上がりました。主たる仕様は下記のようなものです。

WinXP Pro / Core2 Duo 2.4GHz / メモリー 4GB / HDD 500G+260G (外付け) / DVD Multi / 15.6吋 / office2003 / 質量 2.4kg

現在このノートパソコンが、ビデオ編集以外の全てを受け持ってくれており、もしこのパソコンがなければ、まったく身動きがとれないほど重要な存在になっているということをご報告したいと思います。

最後に、このパソコンを活かしきる仲間たちを紹介させていただき、私のパソコン遍歴を終わります。



2007/3
イメージスキャナー
Canon
Canoscan 4400F
データ 取り込み



2003/12
インクジェット
EPSON
PX-G900
写真印刷専用



2009/5
レーザー
Canon
LBP3310
モノクロ印刷専用



2010/10
インクジェット
Hp
Photosmart 2575
カラー印刷専用
(田淵さんより)

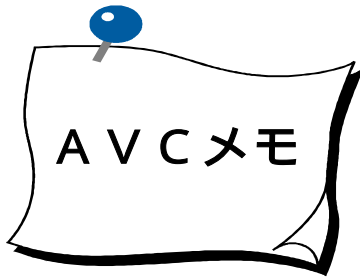
自分のわがままというか、勝手な理由をつけてパソコン、周辺機器、ソフトを多数手に入れてきました。これらは間違いなく業務に役立ったことは事実でしたし、今も情報収集や多くのことに活用しながらパソコンライフを楽しんでいます。今この環境があるのも、家族の理解があったからだ感謝しているところです。

デジタルの世界は、まだまだ進化を続けていくと思いますが、私は機器が壊れない限り、この世界を追い求めていくことにピリオドを打とうと思っているところです。

追い求めることよりも、手持ちの機器を、ソフトを、もっと使いこなす楽しさはないだろうか。(それぞれが凄い機能を持っているにもかかわらず、その一部のみで満足している)

まだ使えるのに、次ぎ、次ぎを続けてきた過去の行動と反省を踏まえて、今度は『使いこなす・使い切る』という方向に大きく転換をはかり、新たなパソコンの楽しみを求めていきたいと思います。

(完)



中を覗いて見ませんか

竹田 幸男

「ケータイの番号を教えてください」と聞くと、すらすらと答えてくれる人は10人に1人か2人、後の人はケータイを開いて番号を探す。中に1人か2人はそれも出来ずにうろたえる・・・というのがいつものパターンです。

話は変わって、お持ちのパソコンの性能を確認するために「CPUは何?」「クロックは?」「メモリーはどのくらい?」「ハードディスクの容量は?」と訊ねても返事は余り期待しない方がいいようです。

「CPU」とは中央演算装置または中央処理装置といい、パソコンの中で計算を行う中心の装置であり性能を左右する一番の要素です。パソコンの性能はCPUだけでは決まりませんが、一般にCPUの性能に合わせて他の部分もそれにバランスを取ってグレードを上げていくので、もっとも重要な部分です。このCPUの名前もずいぶんといろいろと変わってきたのですが、オタク的になるので省略し、インテル(という半導体メーカー)で言えば少し前はコア2シリーズ、いまはコアiシリーズが最先端で、その中でもいろいろなグレードがあります。

「クロック周波数」とはCPUが計算をするときに複数の回路の処理を揃える信号の早さで、早いものは1秒間3GHz(ギガヘルツ)以上のものがあります。ギガヘルツとは1秒間10億回の繰り返し、3ギガヘルツといえは1秒間30億回の繰り返しで、いかにパソコンのスピードが速いか、ということが、これで体感できると思います。以前はクロックの早さで計算の能力もほぼ決まっていたましたが、CPUの中にある「コア」(中心の部分)が1つから2つ、4つと増えてきて、またいろいろな技術で計算を早める工夫をしていますので、クロックだけでは決まらなくなっています。

メモリーとはCPUの計算の時にデータを一時的に貯めておく部品で、10年ぐらい前は128メガバイトとか256メガバイトぐらいであったと記憶しています。それが512メガバイトになり、今は少なくとも1ギガバイト、多いのは4ギガバイトぐらいのものもあります。

ハードディスクは、オペレーションシステムであるウィンドウズやいろいろなソフトウェア、文書や写真などのデータをためておくもので、容量は多いほどいいのですが、大事なことは使っていない残りがどれだけ残っているか、ということなのです。

そこで、これらの内容や数値がどうなっているか、中を覗いて見ましょう。いま、この文章を書いているパソコンの場合を例に示します。

パソコンがウィンドウズ7の場合、デスクトップ左下のスタートのアイコン（4色の瓦が集まったような丸いマーク）をマウスで左クリックして（以下ただクリックと書いてあれば左クリック）、開いた中で「コントロールパネル」をクリック、「システムとセキュリティ」をクリック、「システム」をクリックして開いた中で「Windows Edition」の下には「Windows 7 Home Premium」と表示されています。これは「オペレーションシステムがウィンドウズ7のホームプレミアム」であることを示しています。

つぎに「システム」の下には「プロセッサ」は「Intel Core 2 Duo CPU E6850 @3.00GHz」と表示されています。これはCPUが「インテルのコア2デュオで、型番がE6850、クロック周波数が3ギガヘルツ」であることを示しています。

つぎに「システムの種類」は「32ビットオペレーションシステム」とあり、ウィンドウズが32ビットで働いていることを示しています。32ビットのほかに64ビットもありますが、ソフトウェアが対応していない場合があるので注意が必要です。

ハードディスクの容量は、先ほどのスタートマークの上でマウスを右クリックすると「エクスプローラを開く」と出ますので、これをクリックして開いたエクスプローラの中で「ローカルディスク(C)」を右クリックして開いた中で「プロパティ」をクリックして開くと円グラフが出ます。ピンク領域が空き領域、青色が使用領域で、それぞれバイト、ギガバイト(GB)単位で数字が出ますので、ギガバイトの値を控えておきます。ピンク色の割合が少なくなってくると動作が落ちてきます。「ローカルディスク(D)」のあるパソコンはそちらも見てみましょう。Cドライブのピンクの割合が少ない場合は写真などのデータが入っていたら出来るだけDドライブや外付けのハードディスクへ移動させましょう。

ウィンドウズXPの場合は、もう少しわかりやすく、デスクトップ左下の「スタート」をクリック、「コントロールパネル」をクリック、「システム」をクリックすればウィンドウズの内容とCPUとクロックとメモリーの容量とが出てきます。

これだけのデータを集めておけば、パソコンに詳しい人に伝えれば、どの程度の性能があるかを把握して、使う用途に対して十分な性能・余裕があるかどうか、適切なアドバイスをして頂けると思います。

(完)